

あきしま市

自治連会報

■発行者
宮田 次郎

■編集
昭島市自治会連合会
総務企画委員会

昭島市田中町1-17-1
昭島市役所内
TEL 544-5111

1.1

平成30年
(2018年)

ご きん じよ
互近助 づきあいを始めよう！



2017.9.13 自治会長研修会（そなエリア東京・江東区）

新年を晴ればれと！

昭島市自治会連合会
会長 宮田 次郎



明けましておめでとうございます。本年が皆様にとってより良い年であり、ますことを祈念してご挨拶申し上げます。自治会連合会も本年で60周年を迎え、今後とも会員の皆様と一緒に、安全・安心の地域を目指し活動してまいります。

加盟自治会も昨年2自治会、今年もさらに増え100自治会の仲間となる予定です。少子高齢化が進み“お互いに支え合い励まし合う地域のネットワーク”が必要となってきました。

本年も自治会活動へのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

年頭に当たって

昭島市長 臼井 伸介



新年明けましておめでとうございます。私が市政を担わせていただくことになりまして、一年二ヶ月余りが経ちました。「住んでみたい。住み続けたい。訪れてみたい。」更には、「昭島大好き！」と大きな声で自慢したくなるようなまちづくりを目指し、全庁一丸となって市政運営に邁進してまいります。

そのためには皆様方の地域の支えあい、今以上に大切です。引き続きのお力添えをお願い申し上げますとともに、本年が、皆様にとって素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。

地域の仲間といっしょに、まちづくりしませんか?!

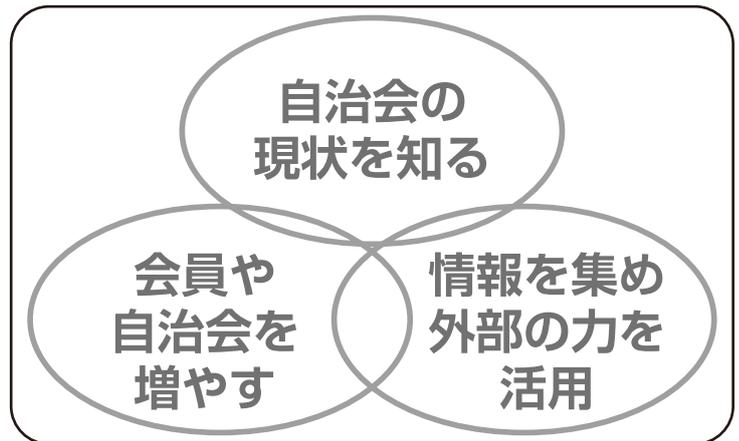
～3-Action(3つの活動)で、自治会の加入活動を支援・推進しています～

■ 自治会の現状を知る

○加盟自治会の現状を知るために、昨年4月に全自治会を対象に「自治会加入状況等アンケート」調査を実施しました。

- ・現状をまとめ、自治会に報告し、今後に生かしていきます。
- ・調査結果を分析し、加入促進委員会に於いて、各自治会の加入活動に何が支援できるか、できるものから応援すると共に今後、具体的な対策の検討を進めて、加盟自治会に提案していきます。

○自治会の加入活動の後押しと“会員へのサービス・地域の店舗とのつながり”の意味あい「ごきんじょ（互近助）カード」第2版の発行と、会員特典制度の「協力店一覧」第4版の発行・配布を行いました。



■ 会員や自治会を増やす

◆新しい仲間が2つ増え、昭島市の自治会は“98”自治会になりました！

○瑞雲中学の南東のマンション「ポレスター昭島」119世帯。

○西武線西武立川駅南西の戸建て地区「プラウドシーズン西武立川自治会」64世帯



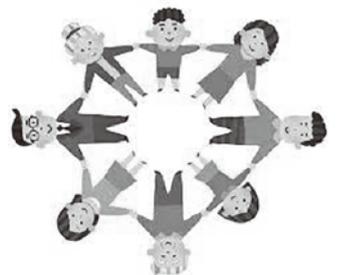
◆もうすぐ、仲間があと2つ増える予定→100自治会！

今後、西武線西武立川駅南のゴルフ場との間のマンションで11月から入居が始まった「プラウド西武立川」と、JR東中神駅北東の、法務省関連で開発中の「もくせい杜」に1月、180世帯入居し、仲間が100自治会になる見込みです。

■ 情報を集め、外部の力を活用する

○昨年6月、東京都町会連合会に加盟しました。東京都の地域への施策や都内の各区や市の取り組みの情報がスムーズに入ってくるようになりました。

◆東京都の「地域の課題解決プロボノプロジェクト」の活用
自治連の第1ブロック内で“休会中の自治会の再開について”をテーマに応募し採用されました。活動内容は、再開の賛否や自治会に対する要望アンケートを行い、その後、再開迄の手順、方策等の提案などの支援を受け活動をしています。



◆冊子『自治会運営マニュアル』改訂版の際、他地域の情報を活用し作成

明年度自治連は、60周年を迎えます。記念事業として冊子『自治会運営マニュアル（改訂版）』を作成する予定ですが、都内や他地域の情報を集め、昭島市内の自治会が活用していただけるものを東京都の助成金を活用し作成していきたいと思います。

■ 平成29年度自治会長交流会を実施

恒例となりました「自治会長交流会」を12月11日市内の自治会長に集って頂き、10時からフォレスト・イン昭和館にて開催しました。

開会の辞の後、早川副市長と宮田自治会連合会長から挨拶を受け、その後の内容は、

1、新規加盟自治会紹介

- ①ポレスター昭島自治会
- ②プラウドシーズン西武立川自治会

1、自治会活動報告 中神駅前親交自治会

1、加入促進活動について

1、女性の自治会連合会委員会への参画について

1、「避難行動要支援者名簿」について

1、地域ぐるみで災害弱者を支える取り組みについて 宮田 自治会連合会会長に従って、意見交換をしました。次に中庭のチャペル前に移動して、臼井市長中心に記念撮影しました。〈昭島大好き～ カシャ!〉8ページの下段をご覧ください。

12時からシルバンホールにて、臼井市長、木崎市議会議長、萬田立川市自治連合会長他14名の来賓にも参加頂き、話し合いの輪が広がり交流の場となりました。



- 扇谷 自治会長
- 増尾 自治会長
- 宮崎 第6ブロック長(上写真)
- 吉田 加入促進副委員長
- 柳井 総務企画委員長
- 佐藤 昭島市保健福祉部長

■ 防災の備えのためにDVDの貸出しを実施!

◆都の助成金を活用して、次のDVDを準備しました。

貸出ししていますので、どうぞご利用下さい。

- ① 家庭向け……防災の備えと意識10か条
- ② 自治会向け…がんばってます! 自主防災
- ③ 避難所運営委員会向け…避難所の開設・運営

★貸出し窓口：市役所2階・自治連事務局<544-5111(内線2275)>まで



■ 東京都の地域の底力発展事業助成金をおおいに活用しましょう!

30年度も、東京都は自治会を対象にこの制度を継続されます。全自治会大いに活用しませんか。詳細は2月に発表されます。助成金額は、単一自治会20～30万円、ブロック100万円、自治連200万円で、29年度に活用した組織です。

1回目	①昭島市自治会連合会：地域防災リーダーの育成による防災力向上及び、「互近助カード(自治会会員証)」会員特典制度による加入促進事業
	②第19ブロック：高齢化が急速に進むつつが丘地区を、夏祭りで元気にする事業
2回目	③第1ブロック：地域の防災と防犯を主体とした自治会活性化事業
	④第2ブロック：避難訓練を通じた地域防災力の向上事業
	⑤東中神睦会：夏祭り運営体験による子供育成事業
	⑥第6ブロック：中神駅前親交自治会 夏祭りの合同実施による地域活性化事業
3回目	⑦昭文自治会：地域防災力の向上と地域住民の交流促進
	⑧東町第五自治会：地域防災力の強化と住民交流活動の活性化事業
	⑨第四ブロック：防災マニュアルを活用した避難訓練、避難所開設前の避難者受入訓練
	⑩昭島住宅自治会：日中及び夜間の防災訓練を通じた地域防災力の向上事業
	⑪第8ブロック：地域内のネットワーク強化を狙いとする防災訓練の実施
4回目	⑫つつが丘東・つつが丘西自治会：平成30年新春餅つき大会

住み続けたい！安全・安心の互近助活動

ブロックや自治会がにぎやかに市内各地で活動している状況を紹介します(順不同)

第12ブロック 八八会

▶当自治会は、美堀町2丁目の玉川上水沿いにある、会員数45世帯、自治会加入率95%の古き良き時代の名残を残す自治会です。主な行事は、地区内公園でお花見会、自治会対抗球技大会参加、納涼盆踊り大会への模擬店出店、祭礼、敬寿の祝いではお弁当を70歳以上の方に配布、運動会参加などを行っています。今年度会長になり地域の皆様との交流、小中学校との行事等貴重な体験も出来た一方、自治会を辞めていく方が多いと聞きますが、なるほどと思う所があるのも事実です。しかし、添付の写真の笑顔が自治会の是非を物語っていると思うので、まだ自治会に加入していない方は、ご検討願えればうれしいですね。



第11ブロック(小荷田自治会・松原自治会・緑ヶ丘自治会・拝島駅前自治会・富士見坂自治会)

▶平成29年11月5日(日)に拝島第三小校庭と体育館で防災訓練を実施しました。本年度は①起震車体験 ②初期消火と煙体験 ③学校避難所受付訓練 ④救命訓練AED ⑤スタンドパイプ取扱訓練 ⑥炊き出し訓練を実施しました。学校避難所受付訓練は、避難所施設配置図の掲示や避難者カードの配布、パーテーションの組立て、簡易トイレの組立てを初動班の応援を受け行いました。拝島中学校の校長・副校長も参加頂き、地域全体で防災意識の高揚を感じる訓練となりました。



第1ブロック 共成小学校避難所合同避難訓練

▶平成29年11月3日(祭日)共成小学校が指定避難所となっている郷地町及び福島町の8自治会の皆さんによる合同避難訓練が実施されました。平成27年4月の学校避難所運営委員会発足以来、10回近くの会議を重ねて、ようやく避難所開設の取組みが整い、地域の皆さまに避難と避難所の模擬体験をしていただきました。この中で、今後に向けての改善点の掘り越しを目的として実施しました。



114名の皆さんが予定の手順で自治会ごとに参集し、パーテーションや簡易トイレの組み立て、エンジン発電機の操作等に、真剣に取り組んでいただきました。

第10ブロック 森ノ上町会

▶昭島市よりスタンドパイプが貸与されてから、地域の皆さんが習熟訓練の目的で、年1回実施してきました。地域内の各所で毎年訓練場所を変え、近隣住民に参加を呼びかけています。

また、昭島市消防団第3分団の指導のもと、見て・聞いて・触る体験を毎回実施します。いざと言う時に、スタンドパイプが初期消火に活用でき、多くの方が操作できることを目指し活動しています。



第5ブロック（中神始自治会、中神親和自治会、中神東上自治会、交友自治会）

▶平成29年11月26日(日)中神小学校校庭で、あきしま・街づくり・市民会議なかがみ主催の防災訓練に参加しました。当日は天気にも恵まれ113名が参加し消防署員、消防団隊員の指導の基に真剣に取り組みました。

また今回は中神小学校避難所運営委員会を中心に玉川小学校避難所運営委員会も加わり、初めて体育館で避難所開設訓練を実施しました。参加者からも多くの質問もあり関心の高さがうかがえ、大変有意義な訓練となりました。まだ参加されたことがない方、ぜひ一度参加してみませんか。



第4ブロック

▶地域災害訓練「参加しよう！命を守るリハーサル」をタイトルに、平成29年11月25日(土)13時30分地震発生（震度6弱）、停電、電話・携帯不通、古い家半壊を想定し、第4ブロック10自治会、昭和郷10施設、昭島病院、昭島市医師会、昭島市役所、昭島消防署、昭島警察署、富士見ヶ丘小学校避難所運営委員会が参加して訓練を行いました。一時避難所と避難本部との無線連絡訓練、避難所開設訓練、昭島医師会によるトリアージの見学、車椅子による搬送訓練、簡易トイレ組み立て訓練、発電投光訓練に皆さん頑張っていました。いざという時に備え、何をすればよいのかを一人一人の意識を高めて、安全安心な地域にしたいと思います。



第6ブロック・中神駅前親交自治会

▶JR中神駅南口駅前の120世帯の小規模自治会です。地元商店会の解散に伴い活動拠点の会館も無くなり、そんな中、危機感より再開した資源回収は2年になります。一番の問題は収集日までの保管場所です。自宅の庭へプレハブを建て倉庫提供や、物置や家の中での保管です。また当日は商店街や会員未加入の方の協力もあり、収入は自治会運営の一助になっています。

実行部隊の中心は”平均年齢60余歳の青年部”です。11月に福島県へ一泊“被災地慰問バスツアー”を実施しました。災害の語り部のボランティアガイドに乗って頂き、被災地の実情を見て、聞いて来ました。被災から6年半、ハード面の順調さとは裏腹にコミュニティの崩壊が深刻でした。“行って、見て来て気付くのは、互近助けあい”でした。



第16ブロック

▶我がブロックは古くからの伝統のある田中町、比較的新しい団地の田中町住宅、管理組合形式自治会のグリーントウンという居住形態が異なる3自治会で構成され、役員は2年ごとの持ち回りで執行しています。

自治会の在り方、取り組みもそれぞれで、今までブロックとしての取り組みは運動会だけでしたが、2年前から合同防災訓練も行うようになり、地域のつながりも強くなっています。

この地域には公民館など公共施設がなく、集会などで不便を託っていますので、早急な開設を待ち望みます。主な行事は稲荷神社に関わる催事、団地の夏祭り、管理組合のお楽しみ会など、それぞれに忙しく取り組んでいます。



中学校校区別の“エリアミーティング”を開催

地域の課題を行政と自治会長が直接話し合う場「エリアミーティング」を隔年ごとに開催しています。今年度は次の3中学校区で開催されました。

行政からは市長、副市長、教育長、課題担当の部課長が、自治会側は自治連三役、該当エリアのブロック長、自治会長等が出席しました。明年度は、福島中・清泉中・多摩辺中エリアで実施します。

以下に地域の課題とそれに対する行政側の回答の要旨をお知らせ

します。より詳しくは該当ブロック長、自治会長にお尋ねください。



■7/19昭和中学区エリア■

① 自治会加入支援の条例化時期

→市、自治連相互に研究を継続中のため現段階では時期未定。

② 昭和公園の機関車展示方針

→平成14年3月策定の昭和公園の整備構想の中で、機関車は展示を継続することとしている。今後もボランティアの協力を得ながら健全な維持管理に努める。

③ 福島通り市民スポーツセンター付近の歩道拡幅要望

→この道路は都市計画で決定され将来的な拡幅計画があるものの実施時期は未定。当面の対策は提案された対策を含め検討し、道路管理者である東京都と協議する。

④ 避難行動要支援者名簿の扱い

→関係機関や団体と調整し、名簿の配布や活用方法は協定書を取り交わすことを考えている。

⑤ 図書館移転後の東部地区図書館機能存続要望

→東部地区に分室機能を持たせるべく検討している。

⑥ 都道八王子村山線都営中神アパート付近横断歩道の歩行者安全対策

→利用者と市で再度現場調査し、どのような対策がとれるか道路管理者である東京都と協議する。

⑦ 東中神駅北口周辺の整備要望

→①駐輪場は駅改築事業開始前の収容台数約400台を確保したいと考えている。②交通広場や昭和記念公園昭島口への案内看板設置については道路管理者である東京都と協議する。

～.～.～.～.～.～.～.～.～.～

■7/26瑞雲中学区エリア■

① 瑞雲中交差点～多摩大橋通りに向かう道路の宮沢交差点に信号機設置要望

→市は機会あるごとに交通管理者である昭島警察署に信号機設置要請をしている。昭島警察署からは警視庁と協議の検討をしているという回答を得ている。

② 青梅線北側地域に交番設置要望

→この件は昭島警察署に要請を重ねてきたところであり、昭島警察署は交番や駐在所の適正配置について、今後も警視庁と連携しながら継続検討すること。

③ 市の空き家対策について

→現在水道が1年間使われていない家庭を職員が訪問し確認している。また今年度は外観目視による空き家の実態調査を行っている。現在は空き家の現状把握のための第一歩を踏み出したという状況。

④ 瑞雲中学校のグラウンドや校舎に対する改善要望

➡①グラウンドの水はけが悪いことについては主として費用面から改修が後回しになっている。今後市全体の財政運営を勘案する中で検討する。②非常出口の問題は確認後必要であればしかるべき対策をとる。

⑤ 自治会加入率が年々低下していることについて

➡市は転入者に自治会のパンフレットを同封しお知らせしたり、自主防災組織を支援したりしている。今後も市としては自治会と連携しながら加入率向上を推進していきたい。

⑥ 小中一貫教育について

➡昭島市教育委員会では昨年度から瑞雲中学校、武蔵野小学校、つつじが丘小学校を小・中一貫教育推進研究指定校として、そのあり方を研究している。この研究の成果と課題を受けて小中一貫教育の方向性を協議していく予定。

～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～

■7/28拝島中学区エリア■

① 拝島分水などの史跡の整備要望

➡現地に説明板やスタンプラリー看板を設置し、また文化財巡りコースを設定しホームページなどで公表している。なお老朽化した案内板は更新を検討している。

② Aバス拝島中学校停留所の移設要望

➡停留所は設置基準を満たしたもので、かつ国土交通省の認可が必要。現停留所は過去に複数の候補地の中から種々検討した結果現在地に決まったものであり移設は難しい。

③ 徳洲会病院東～玉川上水に向かう道路の八高線ガード交通安全対策要望

➡過去に①信号機設置②一方通行③道路を歩行者・自転車通行禁止規制等検討してきた。しかしいずれの対策も安

全が担保できないため見送った経緯がある。市としても危険な場所という認識があり、これからも交通安全対策を交通管理者である昭島警察署と協議していく。

④ エコパーク入口交差点から東に向かう道路の帯水対策要望

➡この道路には直径300mmの雨水管が埋設してある。今年3月この雨水管と直径2mの残堀川広域雨水処理幹線の一部試験的に接続し様子を見ている。道路帯水は市内全域で発生していて、その原因の一つに排水柵蓋の目詰まりがあり、ここに溜まった落ち葉等の除去にご協力をお願いしたい。

⑤ 松原アンダーパス側道の安全対策

➡自転車の速度抑制ポール、衝突防止カーブミラー、照明増強等の対策は実施済み。また防犯上の観点から防犯カメラの設置も道路管理者である東京都に要請していきたい。

⑥ 何か動機づけがあると自治会活動参加者の増加が期待できる

➡市の広報などを利用し感謝の意を表明することを考えたい。

⑦ 広報物・配布物の減量要望

➡市関係は生活コミュニティー課が内容をチェックし、できるだけまとめて配布するようにしている。他機関の広報物についても集中的な配布を申し入れる。ただ市の大きな行事案内など絞り切れない部分があることもご理解いただきたい。

減量化の件は市と自治会相互に意見交換しより良い方向を目指すこととしたい。

⑧ 横田基地問題と騒音コンター見直しについて

➡毎年国と米軍に対し要請を行っている。今後とも引き続き粘り強く要請していく。



■9/13自治会長研修会「そなエリア」で防災体験学習と地域防災研修

自治会長研修会を江東区有明にある東京臨海広域防災公園内の「そなエリア東京」で実施しました。東京臨海広域防災公園は国の災害応急対策の拠点として整備された国営公園と隣接する都立公園の計13.2haの広域防災公園で、その中に防災体験学習施設「そなエリア東京」があります。当日は自治会長、ブロック長、自治連役員など計62名が参加しました。



《第一部》地震発生後72時間の生存力を身につける 体験学習ツアー「東京直下72hTOUR」

タブレット端末を操作しながらの学習です。まずエレベーターの中で地震を体験し、降りたら地震で被災した町並みの中でした。端末から随時、質問が出され回答しながら進んでいきます。その後、災害時の暮らしの学習コーナーや、各種防災グッズを見学し、被災地の情報収集や災害対策の国の拠点「オペレーションルーム」を見学しました。

《第二部》東京都総合防災部の方からの「地域防災研修」

東京都全体と昭島周辺の防災対策の説明を受け、全戸に配布されている黄色の表紙の防災ブック「東京防災」を中心に学習しました。

★人は普段経験していないことをいざというときに実行しようとしてもできないものです。「東京直下72hTOUR」の疑似体験は、被災時に取るべき行動の一端を学ぶことができました。是非、この体験をご家族やご近所の皆様とでいかがでしょうか！

○住所:江東区有明3-8-35 ○利用時間 9:30~17:00 ○駐車場:なし
○問合せ:03-3529-2180

■11/11「東日本成人矯正医療センター」を自治会 連合会役員で視察

もくせいの杜に新設の法務省の「東日本成人矯正医療センター」を自治連役員で視察してきました。

隣接地に職員宿舎もあり、1月には180世帯の規模で入居されるとのこと、自治会も結成され新しい仲間が誕生します。

昭島市としては初めての国の施設となります。施設の役割は「全国の刑務所等からの患者を収容して治療」と「近隣の刑務所等から外来患者を受け入れ」だそうです。



12/9「自治会長交流会」時の臼井市長と自治会長の皆様との記念撮影